

事業所における自己評価結果（公表）【放課後等デイサービス】

公表：令和6年4月10日

事業所名：合同会社ふたば

児童発達支援・放課後等デイサービスふたば

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	○活動内容によって使用する療育室を決めており安全配慮している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	可能な限り1対2以内に配置できる環境にしている	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	○段差は極力無くし、スロープや手摺等を設けている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	○ケース会議等の会議にパート職員も含む全体会議を月に1回行っている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	○保護者からの意見等（送迎時・HUG）を朝礼等で共有し業務改善の機会を作っている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	63%	0%	38%	○コンサルティング会社による企業評価、アドバイス等業務改善を行っている。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	75%	25%	0%	○社内・外研修を継続して実施している。	○全員参加型の研修の実施を検討する。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	○独自のフェイスシート、アセスメントシート及びJSI-R及びJSI-Rminiを利用し客観的分析等アセスメントを行っている。	
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	88%	0%	13%	○JSI-R及びJSI-Rminiを利用し簡易アセスメントを行っている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	○固定化しないよう担当を入れ替えながら毎月のプログラムを作っている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	63%	25%	13%		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	○非常勤職員については朝礼議事録を支援前に確認することを実践している。 ○人員配置をホワイトボードを使用し視覚的に情報共有している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	88%	0%	13%	○送迎等により職員全体の打合せができない場合は、朝礼にて必ず報告は終わらせている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	○ICTの活用（HUG等の利用）及び情報共有することにより、記録漏れが全社的に確認できるシステムを使用している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	75%	25%	0%		○地域の交流について今後検討する。（利用者への配慮についても検討する）
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	88%	0%	13%	○必要に応じ会議の場所に参加している。	○相談支援員さんの参加が不足しているので引き続き積極的に声掛けをおこなう。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	88%	13%	0%		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	13%	25%	63%		○該当利用者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	38%	25%	38%	○支援員が継続してついている場合は情報の共有を行っている。	○今後必要に応じて情報共有を行っていく
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	25%	13%	63%	○情報提供する準備はできており、保護者にもその旨伝えている。	○現在該当の利用者なし ○今後積極的に声掛けしていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	38%	38%	25%		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13%	13%	75%		○現状交流プログラムはないため、今後検討していく。（既存利用者のプライバシー保護等も検討条件とす
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	13%	0%	88%		○今後参加したい

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%		
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	38%	25%	38%	○第三者機関によるペアレントトレーニングの告知をHPや施設内掲示により周知している。	○今後行っていく予定である。 ○保護者会時に家族支援をするなど、今後機会を増やしたい。
保護者への説明責任等	㉖	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%		
	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%		
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	75%	0%	25%	○イベント時に保護者会を行う機会を作っている。	○保護者へ保護者会の実施の周知を拡げる。
	㉙	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%		
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	○ホームページにより月の報告を実施、療育計画やイベントの周知を実施している。 ○HUGを有効活用	
	㉛	個人情報に十分注意しているか	88%	13%	0%		
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%		
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	13%	0%	88%		○土曜イベントへの招待など検討していく。(現在利用中の利用者へのプライバシー保護等配慮は十分留意)
非常時の対応	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	88%	0%	13%	○施設内の見やすい箇所に各マニュアルを常備している。	○定期的に行っていく予定。 ○全体訓練についても検討する。
	㉟	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	25%	0%	75%		○定期的に行っていく予定。 ○全体訓練についても検討する。
	㊱	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	88%	0%	13%		
	㊲	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	63%	25%	13%		
	㊳	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	75%	0%	25%		○該当利用者なし。 ○該当者がある場合は適宜対応
	㊴	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%		